

News Letter 2026年4月号

補助金だけじゃない！中小企業支援制度の賢い活用法 GビズIDのログイン方法が変更されました



経営革新等支援機関推進協議会

CONTENTS

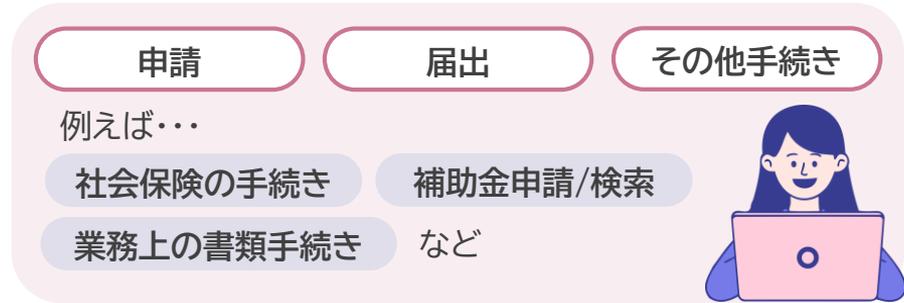
- 1 GビズIDとは？
- 2 ログイン方法が変更になりました！
- 3 電子申請4つのメリット
- 4 補助金以外にも広がる活用術
- 5 「今すぐ」準備すべき理由

① GビズIDとは？

デジタル庁発行の事業者向けIDです

GビズIDは、事業者を対象とした
共通認証システムです。
アカウントを作成すると、
複数の行政サービスにログインでき
業務上の電子届出や申請に使用できます。

- ✔ オンラインで最短即日作成できます
- ✔ 法人または個人事業主のすべての方が対象です
- ✔ アカウントは無料で作成できます



② ログイン方法が変更になりました！

2025年12月17日以降、GビズIDで行政サービス(e-Gov、Jグランツ等) にログインする際の認証が変更されています。これまでのSMSで受け取るワンタイムパスワード方式は利用できなくなり、今後は次のいずれかでのログインが基本となります。

- GビズIDアプリ認証:アプリで承認
- メール認証:ワンタイムパスワード入力



アプリ認証を利用中の方

特に対応は不要。これまで通りログインできます。(追加でメールOTPを設定することも可能)。



SMS認証を設定中の方

SMSでは行政サービスにログインできなくなったため、アプリ認証または、メールワンタイムパスワード認証のどちらかを設定する必要があります。

③ 電子申請4つのメリット

- 01  **いつでも・どこでも手続きできる**
インターネット経由なので、原則24時間365日、自宅や職場から申請できます(※メンテナンス等で停止する場合あり)。
- 02  **時間やコストを削減できる**
役所へ行く移動時間・交通費が不要になり、郵送の切手代などもかかりません。
- 03  **情報入力の手間を減らせる**
企業概要や財務情報など、過去の申請で入力した情報を自動転記で再利用でき、入力負担を軽減できます。
- 03  **押印(ハンコ)が不要になる**
ログイン時の認証機能で申請者確認を行うため、書類への押印が不要になります。

④ 補助金以外にも広がる活用術

いままでは法人・個人事業者の確認手段として電子証明書の取得(有料)が必要でした。しかし、GビズIDを取得すること(無料)で、電子証明書がなしで電子申請が可能となります。現在、GビズIDアカウントで利用できる行政サービスは拡大中であり、今後も広がる見込みです。

オンライン申請できる行政サービス例

- jGrants(経済産業省・補助金申請システム)
- DX推進ポータル(経済産業省/IPA)
- デジタル化・AI導入補助金
(経済産業省・中小企業庁・中小機構)
- 経営力向上計画申請プラットフォーム
(経済産業省 ほか)
- 事業継続力強化計画電子申請システム(中小企業庁)
- 農林水産省共通申請サービス(農林水産省)
- 社会保険手続きの電子申請(日本年金機構)
- 食品衛生申請等システム(厚生労働省)
- 保安ネット(経済産業省)
- e-Gov(総務省)

⑤ 「今すぐ」準備すべき理由

GビズIDは「必要になってから」だと間に合わないケースがあります。特にプライムは発行に時間がかかるため、補助金や行政手続の予定がある場合は前倒しが安全です。日常的に手続を行う会社ほど、早めに社内で「どの認証方式を採用するか」も決めておくと運用が安定します。

アカウント作成は
こちら



アカウントの種類

プライムアカウントがおすすめ
プライムを作成すれば、
アカウントを増やせます

事業主

プライム

作成

従業員

メンバー

	アカウント 種別	利用可能な サービス	アカウントの 作成方法
法人代表者・ 個人事業主	プライム	すべて	審査を行って作成
従業員	メンバー	制限あり(小)	プライムによる作成
誰でも	エントリー	制限あり(大)	審査を行わず作成

作成方法

半数以上の方がオンライン申請を利用しています
マイナンバーカードがあれば、最短で即日発行。
もちろん書類郵送での作成も可能です。

最短
即日

オンライン
申請

情報
入力

電子
署名

審査
完了

本人
確認

登録
完了

2週間
程度

書類郵送
申請

情報
入力

書類
印刷

郵送の
準備

郵送

審査
完了

本人
確認

登録
完了

最後までご覧いただき ありがとうございました

▼▼今回の内容の公的サイトリンクは概要欄へ▼▼



経営革新等支援機関推進協議会